

はじめに

令和4年度も新型コロナウイルスの影響は大変大きなものでありました。いつまで続くのかうんざりするような状況下、多大なるご尽力を続けて下さっている医療関係者の皆様、また、献身的に生徒たちの学びの場を守っておいでになる学校関係者の皆様に、あらためまして心より御礼申し上げます。

この新型コロナウイルスの蔓延は長崎大学の入学者選抜においても少なからず影響を及ぼしています。今年度も追試験が実施されたこともその影響の一つです。また、詳しくは年報本文をご覧くださいいただければと存じますが、例えば志望校選択において地元志向が続いている傾向、安全志向が見受けられる傾向などもありました。オープンキャンパスに目を移すと、人数制限が今年も継続されることとなりましたが、一方では、嬉しいことに福岡県での移動オープンキャンパスを3年ぶりに実施することができました。

今年度の大きな出来事は、高等学校で新学習指導要領が実施されたことです。プログラミング等を学ぶ「情報」が必修化されたことに伴い、令和7年度入試からは6教科8科目が受験科目となることになります。その配点等も各大学で徐々に示されて来ており、長崎大学でも年度末に公表するに至りました。大学入学共通テストも第3回目が実施されました。出題の傾向はかなり明らかになってきましたが、結果としては教科ごとに平均点のばらつきが見られたのも今年度の傾向です。

長崎大学は、このような前例のない感染症の影響と入学者選抜改革の流れに対して、河野茂学長のもと様々な対応を行って参りました。例えば、多面的・総合的な評価により、高い意欲・関心を有する多様な学生を受け入れるための検討・改善を進め、医学部・歯学部において、いわゆるゼミナール入試を実施するに至ったこともその一つです。オンラインでの面談等の充実、ウェブサイトを利用しての情報公開の更なる推進なども進めて参りました。また、「思考力・判断力・表現力」を見る問題作成のために、高等学校の先生方とともにワーキンググループを設置して検討・意見交換などを積極的に進めて参りました。これらの取組みは、文部科学省をはじめとする多方面から、非常に高い評価を受けております。

このような重要な案件や事業は、教育開発推進機構アドミッションセンターの教職員が中心となって進めているものです。なお、専任教員の業務及び教育研究活動の内容は本年報の第Ⅱ部をご覧ください。

最後に、今後も当センターの事業・業務にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

令和5年3月

副学長（入試・地域教育連携担当）
教育開発推進機構アドミッションセンター長
中村 典生

contents

はじめに

第Ⅰ部 教育開発推進機構アドミッションセンター業務報告

本年度実施業務

1. 入学者選抜方法等に係る調査及び研究に関すること	1
2. 入学者選抜結果の分析及びその評価に関すること	52
3. 総合型選抜の実施に関すること	79
4. 一般選抜, 総合型選抜, 学校推薦型選抜等入学者選抜全般の方法に係る 情報提供, 助言及び支援に関すること	79
5. 総合型選抜Ⅰによる入学予定者に対する入学前教育の支援に関すること .	80
6. 入学希望者及びその関係者を対象とした大学の広報に関すること	89
7. その他	102

第Ⅱ部 専任教員の活動の記録	113
--------------------------	-----